

文化の丘

令和3年春号
(ISSN 1345-2282)

No.369

- 1 こんにちは館長です
- 2 図書館法施行70周年記念
図書館関係者表彰
- 3
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

こんにちは 館長です

令和2年度末で、静岡県を退職する、静岡県立中央図書館長 三科 守 が
図書館についての想いを綴りました。

静岡県立中央図書館に赴任して、3度目の春が巡ってきました。久しぶりに冷え込んだ冬の厳しさを体感しましたので、暖かな陽射しに映える桜花爛漫の季節が待ち遠しかった方も多いのではないのでしょうか。

令和2年度は、世界的規模で新型コロナウイルス感染症に大きく影響を受けた1年となりました。県内公共図書館の運営に携わる職員にとっても、年度当初から、予定していたイベントや講座・講演会、研修会、季節の催し、

おはなし会など、盛りだくさんに予定された計画が年間を通して中止や延期、修正を迫られるという、未曾有の困難に直面することになりました。サービス機関の基本である、フェイス・トゥ・フェイスでの対応に様々な留意条件が付されることになり、人と人が出会うことで生まれる新しい文化創造の機会も大きく制限されました。

しかし、こうした状況であったからこそ、社会全体の動きと並行し、もう少し先のことを考えていたオンラインによる新しい手法での図書館サービスの提供という可能性も大きく前進させることができたと思います。当館も様々な講座・講演会、研修会を含め、暗中模索の中で、貴重な蓄積を得ることができました。対面型のサービスとともに、適宜適切に利用していけば、図書館に課せられた、求める人々への知的財産の提供という地平は、さらに大きな拡がりを見せていくことでしょう。

感染の収束が見通せないこの3月は、新年度の年間計画策定とその実施方法の確定に頭を悩ませる日々です。当館は、今年度の経験をもとに、基本として従来どおりのやり方で設定・広報しながら、必要に応じてなるべく早い段階で修正・周知することを方針としていきます。もちろん、市町立図書館をはじめとする県内の全ての公共図書館との連携協力を大切に、県民の要望にしっかりと応えながら、文化レベルの維持・向上を目指して歩んでいきたいと思っています。

コロナ禍に左右された今年度は、同時に図書館の新しい可能性の扉を開く年でもありました。新年度を迎え、全ての図書館職員のさらなる活躍を期待します。



静岡県立中央図書館長
三科 守

図書館法施行 70 周年記念図書館関係者表彰

多年にわたり図書館活動等の振興に顕著な功績のあった者及び全国的見地から多年にわたり図書館関係の団体活動に精励し、図書館活動等の振興に功労のあった者等に対し、その功績をたたえて文部科学大臣が表彰するものです。

表彰は、1980年の図書館法施行30周年から10年ごとに実施されており、今回は5回目に当たります。静岡県からは4名の方が表彰されました。



塚田 薫代 氏

略歴

- ・平成5年から静岡県立こども病院図書室専任司書として勤務
- ・同26年6月 日本医学図書館協会健康情報サービス研修ワーキンググループのメンバー就任（平成28年3月まで）
- ・日本医学図書館協会が発行する『やってみよう図書館での医療・健康医療情報サービス』（平成24年3月）及び改訂版（平成25年1月）の作成に携わる



辰巳 なお子 氏

略歴

- ・昭和48年4月から浜松市立図書館で司書として勤務
- ・同54年11月児童図書館研究会静岡支部代表（平成19年3月まで）
- ・平成18年度から浜松市立中央図書館館長
- ・同23年3月に退職 在職中から、県内外大学において、図書館学の講師を務めた

病院の医学図書室専任司書として医療従事者へのサービスを行う傍ら、入院患児のための児童図書サービス「わくわくぶんこ」の運営、患者の家族へ医学情報を提供する患者図書館サービスも実施している。

平成18年3月の文部科学省『これからの図書館像—地域を支える情報拠点をめざして—(報告)』の中で、課題解決支援の一つとして公共図書館でも医療・健康情報サービスを展開するよう推奨された。しかし、専門性の高い分野であるため静岡県内の多くの公共図書館が消極的な姿勢であったが、静岡県立こども病院図書室によるおすすめ医学書リストの定期的な公開、公共図書館からの医療関係の二次レファレンス受付などの選書・レファレンス業務に対する支援や、県内の各地の司書向け研修会における講演など医学情報啓発に努めた。

また、県内公共図書館に向けて新型コロナウイルス感染症に対応する情報提供を行い、各館がコロナ禍の中で図書館運営をする際の貴重な判断材料のひとつとなっている。

このほか、日本医学図書館協会における諸活動を通じて、静岡県のみならず全国の公共図書館における医療健康情報サービスの推進に貢献した。

平成18年4月から同19年3月まで浜松市立中央図書館長を務め、主に児童サービスに力を注ぐ。児童サービスを行う中で、子どもに対してだけでなく、親や保育者、教員、ボランティアなど、子どもの身近にいる大人たちに積極的に働きかけを行い、読み聞かせや語りの普及、振興に努めた。

昭和54年11月から平成19年3月まで児童図書館研究会静岡支部の代表を務めたほか、「浜松ストーリーテリング研究会（現 おはなしつむぎの会）」代表、「子どもと絵本のネットワークルピナス」代表を務め、地元浜松で読み聞かせやストーリーテリングの活動を行うとともに、後進の育成を行っている。また、在職中から昔ばなしの語り手を育てるために全国各地で開催されている市民大学「昔ばなし大学」の語り講師を平成4年から同26年まで務めるほか、非常勤講師として、平成6年4月から同13年3月まで白百合女子大学、平成20年4月から愛知大学、平成23年4月から同31年3月まで金城学院大学、平成23年4月から愛知淑徳大学、平成26年4月から静岡文化芸術大学、平成30年4月から中部大学で図書館学の講義を行っている。

この他にも、各地で図書館職員、ボランティア等を対象とした児童サービスや読み聞かせ、ストーリーテリングについての講演や実技指導を行い、児童サービスの発展に貢献している。



内山 淳子 氏

略歴

- ・平成4年7月から東伊豆町の臨時職員として図書館の開館準備に従事
- ・同5年4月から東伊豆町立図書館の司書として勤務
- ・同26年度から東伊豆町立図書館館長
- ・同28年8月から静岡県立中央図書館協議会委員

乳幼児サービスとして保健福祉センターと協力してのブックスタートや育児サークルの実施、幼稚園や小学校への出前おはなし会やクラス貸出本事業、平成8年に図書館で結成した「人形劇サークルあしたば」の活動支援など、各関係者と協力関係を築きながら、子どもの読書活動の充実に尽力している。東伊豆町立図書館は平成28年度に「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けた。

平成29年度からは、地域のシニア層の増加を受けて音読サークルを実施しており、好評を博している。

また、地域の新しい文化の創造やまちづくりに貢献できる図書館として、絵本づくりや郷土研究の展示会、音楽活動など生涯学習活動の発表を奨励し、地域おこし協力隊の若者に活動の場を提供、多様なイベントの開催により交流の場づくりを推進する取組は、他の図書館の模範となっている。

現在もおはなし会に従事するほか、休日にはボランティア活動として、平成15年から約10年間、伊東市立旭小学校読み聞かせの会でんでん虫に所属し、会長も務めた。東日本大震災の際には、平成23年7月に宮城県石巻市の避難所や七ヶ浜町の集会施設で読み聞かせ等を実施した。



勝山 高 氏

略歴

- ・平成5年10月静岡市立三番町小学校図書ボランティアを設立
- ・同12年6月全国学校図書館協議会第2回学校読書推進大賞受賞
- ・同20年度から静岡県子ども読書アドバイザー企画認定委員
- ・同29年度から静岡県読み聞かせネットワーク会長
- その他、静岡県子どもの読書活動支援連絡協議会委員、静岡県読書推進会議委員等役職多数。

平成5年10月に学校での読み聞かせ活動を行う静岡市立三番町小学校（現 静岡市立番町小学校）図書ボランティアを設立し、代表を務める。静岡市立三番町小学校図書ボランティアは平成12年6月10日に全国学校図書館協議会第2回学校読書推進大賞を受賞した。平成13年6月には、静岡市立末広中学校にも学校図書ボランティアを設立しその代表を務め、地域と学校が連携した子どもの読書活動推進に努めた。

この経験を活かし、静岡県読み聞かせボランティア養成講座、平成30年度袋井市立図書館ボランティアのつどい講演会、令和元年度読み聞かせボランティア育成講座（静岡市）など、県内の図書館ボランティア等を対象とした講習会・研修会の講師を務め、後進の育成に尽力している。

平成20年度からは静岡県子ども読書アドバイザー企画認定委員会の委員に就任し、地域のボランティアと学校や図書館をつなげるコーディネーターとなる読書アドバイザーの養成講座の企画運営、講師を務め、公立図書館とボランティアとの連携の促進に貢献している。

また現在、会長を務める静岡県読み聞かせネットワークにおいては、設立当時から役員として携わり、県内の図書館読み聞かせ関連の団体・グループや関係機関等と相互に連携を図りながら、講演会や研修会の開催、情報誌の発行など活動者の資質向上にも努めており、県内の図書館ボランティアの活動を支援する組織と体制の構築に大きく貢献した。

永年に亘るご功績が花開き、受賞の栄誉に輝かれましたことを心からお喜び申し上げます。
今後のご健勝とますますのご活躍を心より祈念いたします。

静岡県立中央図書館では、表彰された方々が所属する団体をはじめ、県内の図書館関係団体と連携し、県内図書館の振興と読書活動の推進に努めています。各種取り組みは当館のTwitterで紹介しています。



静岡県立中央図書館公式 Twitter



2021.1.7 河津町立文化の家図書館



2021.1.13 長泉町民図書館



2021.2.10 小山町立図書館



2021.2.18 伊豆の国市立中央図書館



2021.2.18 函南町立図書館



2021.2.18 三島市立図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。

静岡県立中央図書館だより『文化の丘』の発行回数の変更について

日頃、『文化の丘』をご愛読いただき、ありがとうございます。現在、年4回（6月、9月、12月、3月）発行している『文化の丘』は令和3年度から年2回（9月、2月）の発行となります。今後とも、静岡県立中央図書館だより『文化の丘』をよろしくお願いいたします。